

将来を左右する英語力

今年のセンター試験は英語が難しくて多くの受験生が涙を飲みました。全国平均点は116点でしたが、安念塾の塾生平均点は154.6点でした。英語力が大学入試を左右する。でも、これで満足していくはいけないです。

英語力は将来も左右する

というのが、これから常識なのです。国際化、インターネット社会の今日、英語力の養成は目的ではなく、必須事項の一つ。その基礎を築けるかどうかは、高校時代の勉強にかかっているのです。

「東大大学院に合格しました。試験は専門科目と英語でした。TOEICで780点取っていたので、英語は余り難しいとは思いませんでした。」(去年10月、私立大4年生のメール)

「TOEICで750点とりました。先日、外国バンドのライブに行ってきました。ライブ後色々話しました。ツアー中の大変なこと、日本についての見解など、とにかくいろいろ話しました。やはり英語は使うと楽しさがわかりますね。流暢に話せていたのは僕くらいだったのでちょっと天狗になりましたが…」(1月、私立大2年生のメール)

「6月にシアトルで開かれる国際機械学会で英語で発表することになりました。」(2月、富山県立大学大学院生)

卒塾生たちは、高校時代の英語の基礎の上に立って、さらに磨きをかけています。
きみたちも先輩たちの仲間入りをしませんか。

大学受験・高校受験 および TOEIC対策の eラーニング講座も開講しました。

2週間無料お試しにトライしよう。(詳細はホームページをご覧ください)

【募集要項】

新高校1年生 (高岡・砺波・高岡南生)

*今年度新中学1年生クラスは締め切りました。ありがとうございました。

中・高校生対象

英語の安念塾

☎・Fax 32-5283 (砺波市太田1360)

<http://www12.plala.or.jp/m-annen>
e-mail: m-annen@agate.plala.or.jp

安念正義・慧子

(同志社大英文科・米国ワシントン大政治学科卒)
(中学・高校教員免許所持)